



【第43期初級陸曹特技課程「准看護師」入校式】

平成30年4月4日

自衛隊札幌病院（病院長：上部陸将）は、4月4日(水)、北部方面総監部医務官、同人事課長・教育幹部、北部方面最先任上級曹長、入校学生の前隊指揮官として、北部方面衛生隊長、第2後方支援連隊衛生隊長等多数の関係者が臨席する中、第43期准看護学生26名（男子14名、女子12名）の入校式を挙行了しました。

入校にあたり、病院長は、「心身を鍛えよ」、「貪欲に学べ」の2点を挙げ、多様で厳しい環境下での任務に耐えうる強靱な身体を作り上げ不屈の精神を培い、識能を習得を確実にし、陸曹になる者として、自らを律し、万事に積極的にあたるよう要望しました。

また、准看護学院長(相羽1佐)は、事に臨む「気力」、問題解決の糸口となる「知力」、如何なる状況下においても傷病者の救護にあたる「体力」の充実を要望しました。

入校式後、来賓及び病院関係者と会食を行った学生は、ステージ上で一人一人教育に臨む熱い意気込みを宣言しました。

病院は、これまでの卒業生が築いてきた良き伝統を引き継ぐ、准看護師の資格を持った「真に役立つ衛生救護陸曹」となるよう、2年間の教育を開始します。



病院長による訓示



准看護学院長式辞



熱い意気込みを宣言する学生



意気込みを宣言～父のような自衛官に～

記念撮影～二十六の志と～